

今年最後の「1の日」行動 すべての争議解決をめざして 北の鉄路存続を求める宣伝行動も

12月11日、札幌駅南口で「すべての争議解決をめざす1の日行動」がおこなわれ50人が参加しました。この日は、労働委員会で全面勝利命令を勝ちとった福祉保育労明啓院分会から、施設側が命令の取り消しを求めて提訴したことが報告され、新たなたたかいへの支援が訴えられました。KKR札幌医療センターの杉本綾さんの過労自死が労災認定されたあとのたたかいへの協力の訴えや、自交総連、医労連恵和会労組のたたかいの現状報告がされました。このあと、北海道労働センターで、札幌地区労連主催の「2018年争議支援！団結交流会」がもたれ、40人を超える仲間が参加しました。「結バンド」の演奏に合わせて、参加者は歌声を響かせて争議勝利にむけて団結を固めました。

なお、「1の日行動」に先立って、北の鉄路存続を求める会が宣伝行動をおこないました。

北海道建設アスベスト第2陣訴訟口頭弁論 一人親方に対する国の責任で主張書面

12月13日、札幌地裁で「北海道建設アスベスト第2陣訴訟」の口頭弁論が開かれ、原告側は大阪高裁の2つの判決をふまえて、一人親方に対する国の責任についての主張書面を提出しました。また、裁判所の文書提出命令に被告のエム・エム・ケーが即時抗告したことには理由がないとする意見書を出しました。なお、次回期日（2月14日）の次の期日を5月9日に指定されました。

北海道トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会

12月12日、「第10回北海道トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」が開かれました。議題は、平成30年度におけるコンサルティング事業の実施状況についてと、取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドラインについてでした。

札幌合同支部アルファ分会が大会

札幌合同支部アルファコーポレーション分会は、12月13日に第5回定期大会を開催しました。三浦委員長は、「組合結成から5年目を迎えることができた。当初は2年かけてようやく要求実現を果たしたが、会社の姿勢はなにごとにも“知らせる”“不安を解消する”などの徹底がされず大きく変わっていない。中長期的な未来を見据えた運動方針で、みなさんと一緒に元気になる職場にしていきたい」とあいさつしました。大会では、委託契約で働く仲間の正社員化を求めることなどを盛り込んだ運動方針案が満場一致で採決されました。また、「組織行動費を組織拡大のためにぜひ使ってほしい。昨年から予算化しているのでぜひ執行委員の数も増やしたい」と呼びかけられ、役員は三浦委員長をはじめ新しい執行委員をふくむ新しい執行部体制を決めました。なお、役員が機関誌「建交労」を購読することになりました。